



北里大学同窓会栃木県支部
 新年会・定期総会のお知らせ
 2015年12月1日発行



栃木県支部ホームページQRコードです。
 スマートフォンでのアクセスに利用下さい。

第4回定期総会・講演会・懇親会

支部長 滝 龍雄

第4回北里大学同窓会栃木県支部の定期総会、支部講演会、支部懇親会を以下のとおり開催します。総会の議題、開始時間等の詳細は、次号の栃木県支部ニュースでお知らせします。
 是非ご参加ください。

第4回 栃木県支部定期総会

日時：平成28年6月25日（土）午後
 場所：栃木総合文化会館会議室

支部講演会

日時：平成28年6月25日（土）午後
 場所：栃木総合文化会館会議室

講師：倉松俊弘先生（医学部1981年卒業、
 鹿沼市真言宗智山派薬王寺ご住職）

演題：「仏教と医療」～今を生きる～

支部懇親会

日時：平成28年6月25日（土）
 支部講演会終了後

場所：検討中

今回の支部講演会は、鹿沼市の薬王院住職の倉松俊弘（しゅんこう）先生にお願いしました。倉松先生は北里大学医学部を1981年に卒業後、小児科医としてご活躍されていましたが、平成15年、薬王院第三十世山主として、寺門隆盛に努めるべく精進しています。「鹿沼市史資料編 近世2」によると、医王山阿弥陀院薬王寺は、弘長年間（1261～64）の創建といわれ、江戸時代には朱印地10石と与えられ、さらに今宮権現の別当をつとめました。元和3年（1617）の家康の日光山への改葬の際には遺骸や家光（慶安4年）の遺骸も滞留しているそうです。（一部改変）。

倉松俊弘住職のご講演、是非、ご期待ください。

2016年 新年会のお知らせ

平成27年度新年会世話人

阿部祥次(H22 獣医学部卒)

鈴木敦(H24 獣医学部卒)

拝啓 今年も残すところあとわずかとなりました。お変わりなくお過ごしでしょうか。

さて、すっかり恒例となりました新年会を下記のとおり行いますので、ご案内申し上げます。これまで、「若手の同窓生も参加しやすい場」をモットーに新年会を開催してきました。お陰様で近年は若手の参加者が増え、栃木県支部はより活気づいています。これまで参加したことが無かった同窓生の皆様、是非気軽にご参加ください。そして思い出話に花を咲かせてみませんか？

年末に向けご多忙のことと存じますが、健康にお気をつけてお過ごしください。 敬具

日時：2016年2月14日（日）、18:00～

場所：シテ・オーベルジュ（宇都宮市曲師町1-7）



参加費：40歳以上：5,000円、40歳未満：3,000円

参加の申し込み等は、同封のハガキに必要事項を記入して、1月15日までに投函下さい。返信ハガキには是非近況もお知らせ下さい。

急な変更は阿部 (abet07@pref.tochigi.lg.jp)、又は滝 (tatabox@kitasato-u.ac.jp) までご連絡下さい。

Relay for Life 2015 Tochigi に 参加して

山内 久恵

リレー・フォー・ライフが栃木で行われ、4 回目となりました。会場が宇都宮市内の城址公園から、今年は壬生町の総合運動公園になりました。リレー・フォー・ライフはなぜか雨に見舞われることが多く、会場は変わった今年も晴れの天気予報に反して会場周辺は夜から明け方にかけて、時には強く雨になり少し先の場所はまったく雨が降っていない天気となり、まさに「禊」の雨とでも言うのでしょうか、とても不思議な感じでした。

そもそも普段、健康に過ごすことができていると、その普通に暮らせることのしあわせやありがたさを振り返ることを忘れてしまい生活をしておりますが、リレー・フォー・ライフに参加することで、改めて命の大切さ人への思いやりについて再認識するとてもよい機会となりました。

また、会場には様々なイベントブースがあり整体マッサージ、針灸、カラーセラピー等健康に関するのテントをウォーキングの合間に参加しとても楽しく過ごせました。

北里大学は、大学を今後も「健康・環境・食の連携による生命科学と医療科学を学ぶ総合大学」と位置していく中で、このようなイベントへ参加することで、私たち同窓生もそのような忘れがちなテーマについて振り返り考えることのできる良いきっかけになっているのではないかと思います。

私達のテントには、大学から幟やペナントを借りて掲示してあります。参加されている他県の卒業生なども、幟やペナントを見かけて、テントに顔を出してくれることもあり、少しは大学や同窓会栃木県支部の宣伝になっていると実感します。毎年そのような縁で、少しづつ支部会に加入している方もいます。

まだ参加されてことの無い同窓生のみなさん是非次は参加してみたいかがでしょうか。



(今年は新しい大学のペナントも一緒に。)

同窓会支部長会報告

福田 容子

去る 10 月 31 日の土曜日、東京・新宿の京王プラザホテルで北里大学同窓会支部長会が開催され、滝支部長と共に出席しました。支部長会には 26 支部中 20 支部の支部長とオブザーバー 3 人、本部同窓会側は長屋会長以下 16 名の理事、事務局員が主席しました（滝支部長は所用で遅れました）。

先ず、長屋会長の挨拶があり、その後本部役員の方々の自己紹介と続けました。

次に各支部定期総会の開催状況報告が報告されましたが、毎年総会を開催している支部、一年おきの支部、それに事情により開催できていない支部があり、支部により活動状況がまちまちでした。

今年度の PPA 地区懇談会開催の報告（福岡市・盛岡市）と次年度の予定（金沢市・岡山市）が告知されました。地方開催の PPA 総会には、地元の同窓会支部が参加していますが、東京で開催される全体の PPA 総会には特に同窓会からの出席はないようです。東京と神奈川には支部がありませんが、何故か準地元というべき首都圏の同窓会への出席依頼はないようです。

「北里大学同窓会 特別奨励賞」受賞候補者推薦のお願いについて事務局から説明がありました。栃木県支部に“是非、この方に特別功労賞を”という適当な方が居ましたら、ご推薦ください。

そのほか、埼玉県支部が設立された事、鹿児島・沖縄支部が設立準備中であること、更に次年度、大学同窓会として予定されている会議等の素案もざっくりと紹介されました。支部に直接関係するものとしては 10 月 29 日の支部長会程度でした。

北里大学同窓会の 50 周年記念イベントとして、劇団四季の観劇が（来年 11 月 12 日土曜日）が企画されています。対象は中々同窓会活動委に参加できない若い同窓生の同窓会参加を目的としています。詳細が決まりましたら、同窓会本部のホーム・ページや、栃木県支部ニュース、支部ホーム・ページでお知らせします。また、本部では予算を 400 万円確保して、地域の支部が合同して同窓会企画を計画してほしいという要望もありました。

本部からの説明が終わり、各支部からの報告・・・（ここからは滝支部長も参加）。



(支部の活動報告を兼ねての自己紹介です。)

各支部の現状等の報告が終わると地域別に分かれて「活動活性化の具体案について」、「次世代へのはたらきかけについて」のグループディスカッションです。栃木県支部は東北・北海道と同じグループで、主に記念企画について議論しました。でも、地域が非常に広く、開催した場合の参加者の交通費や宿泊費等を考えると、良いアイデアが出る前にタイム・アップでした。



(真剣に討議していますが、結論はなかなか・・・)

支部長会の後、会場を移して懇親会です。初めての参加でしたが、色々と所縁のある支部長や本部の方もいて楽しく時間が過ぎていきました。

同窓会県支部といっても人数はとても少ないところもあり、栃木はいい方かなとも思いました。

遠方からも、同窓会に熱い思いをもって参加くださる各支部長さんに頭が下がります。また、そんな先輩方がいる北里大学同窓会はとても素敵です。

ハートのあったかい北里大学同窓会、私も同窓生になれて幸せです!!この良さを、多くの同窓生に伝え、手をつないでいきたいですね。

2015年 北里大学入学試験情報

滝 龍雄

北里大学は近年首都圏の受験者の割合が多くなり、以前の全国区の大学から首都圏の大学に変化しています。

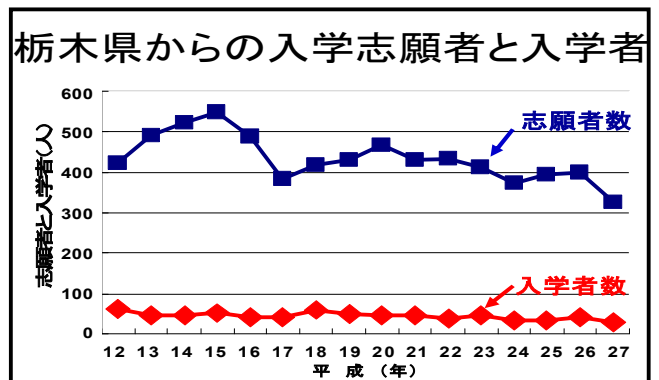
表-1. 平成 23 年～27 年の入学志願者数と入学者数

年		全国	栃木県 (割合/合格率)
27	志願者数	18,489	326 (1.76%)
	入学者数	1,747	30 (9.20%)
26	志願者数	20,136	398 (1.98%)
	入学者数	1,737	41 (10.03%)
25	志願者数	18,693	394 (2.11%)
	入学者数	1,739	33 (8.38%)
24	志願者数	15,383	374 (2.15%)
	入学者数	1,727	33 (8.82%)
23	志願者数	14,845	412 (2.60%)
	入学者数	1,746	47 (11.41%)
計	志願者数	87,546	1,904 (2.17%)
	入学者数	8,696	184 (9.66%)

日本と栃木県の総人口 (H26.10.1 現在) はそれぞれ約

12,709 万人、198 万人でその割合は 1.56% です。人口比では志願者の割合は多くなっています。5 年間の合計の志願者数と入学者数から全国平均の入学率は 9.93% で、栃木県は 9.66% で、ほぼ全国水準に近いといえます。

図-1. 平成 12 年～27 年の入学志願者数と入学者数



受験者総数は、東日本大震災後の 3 年間は、全国的には受験生人口の減少にもかかわらず、北里大学は増加傾向で平均 19 千人前後です。栃木県からの入学志願者数は 300 人台の後半で漸減傾向にあり、平成 23 年までの志願者数 400 人超えに比べると寂しい限りです。15 年には 548 人と今より 1.5 倍の志願者がありました。

資料の詳細を知りたい方は、支部長、又は福田支部長にご連絡下さい。

福島競馬場観戦ツアー開催

福島競馬観戦・研修ツアー報告

齋藤 けさよ (県北健康福祉センター)

昨年に引き続き、11月7日(土)福島競馬観戦・研修ツアーを開催しました。紅緑会員13名、同窓会員10名の他、会員のご家族、ご友人等と計35名(子供4名含む)の参加になりました。

8時30分宇都宮を出発、畜産酪農研究センターを経由し、11時30分に到着、兼丸卓美 県紅緑会支部長に調整していただいたコースが展望できる来賓室から観戦が始まりました。今年は芝が張り替えられたそうで、紅葉に緑色のコースが映え綺麗でした。経験者や2回目参加者は慣れた様子で、初めての方も先達に学びながら、新聞やオッズ表を見たり、TV、パドックで馬を見たりと検討を重ね、皆さん真剣に馬券を購入されておりました。

コース内では、東北鍋祭りと呼ばれるキッチンカーで汁物が販売されていました。注文した福島の「ザクザク汁」は、ホカホカのしょうゆベースの具たくさん汁で、寒空の中でもしっかり体が温まりました。ご一緒した千野根さんのご友人は、地元福島なので開催日はほぼここで観戦しているとのこと。観戦に適した場所はここだとか、フードコートのもつ煮がおいしいとか、女性専用休憩所が設けられたとか地元愛を感じる濃い案内をしていただき大変お世話になりました。メモリアルコーナーでは、

東北大地震の被災状況や、あと3年で100周年を迎える福島競馬場の歴史がわかりやすく展示されておりました（北里研究所は昨年創立100周年だったので、競馬場の方が後輩ですね）。



(左下が新しく張り替えられた芝コース)

帰りは16時30分に競馬場を立ち、19時30分頃に宇都宮に到着しました。

最後に、兼丸支部長から「これを機に競馬場に足を運んでほしい」とのお話がありました。今回も、滝龍雄 県同窓会支部長をはじめ、初めて観戦される方がいらっしゃいました。参加者の競馬を楽しむきっかけとなり、北里大学同窓会栃木県支部並びに紅緑会の活性化が図られればと考えております。



(最後に来賓室で参加者全員の記念撮影です)

日本での競馬は「公営賭博」ということですが、そもそも「賭博」とは、金銭や品物を賭けて勝負を争う遊戯のことで「賭け事」「ギャンブル」と同じ意味だそうです。公営なので、競馬には法律（競馬法）で種々の取り決めがあり、払戻金の算出方法もその一つで競馬の払戻率は約75%（宝くじの約46%より高い）とのこと。その残りですが、100円馬券にすると、10円が畜産振興事業や社会福祉事業に、残り15円がJRAの運営に充てられるそうです。そう考えると、一獲千金の夢破れても、小さな社会貢献をしたと思えますよね。皆さんも是非、競馬場に行ってみませんか。

福島競馬観戦ツアーに参加して

高橋 良（県立がんセンター）

「今年の秋に福島競馬観戦ツアーがあるけど一緒に行きましょう」こんな誘いを受け、せっかくのお誘いだし行ってみようかなという軽い気持ちで今回のツアーに参加させていただきました。

初めての競馬で少し心配な部分もありましたが、行きの中で馬券の種類等の説明を受け準備万端で競馬場に乗り込みました。競馬場に到着し、初めて見た生の競馬の迫力に圧倒されました。それにしても馬の走る姿、足音は本当にかっこいいですね。パドックで馬を選び、一途になれずほかの馬にも目移りしてしまい、悩みに悩んで馬を決め、馬券を買い、その馬券と夢を握りしめレースに臨む。結果的には夢敗れてしまいましたが気分は最高でした！そしてまた夢を選びにパドックへ向かいます。

このツアーではとても貴重な経験をさせていただきました。また機会があれば参加させていただきたいと思えます。あわよくば次回は万馬券を手にしたいです。

福島競馬観戦ツアーに参加して

海老原 祥子（県立がんセンター）

今回初めて競馬観戦ツアーに参加させていただきました。競馬の勉強もせず参加してしまいましたが、バスで福島に向かうその車中で競馬の基本について兼丸会長から丁寧に御教示頂きました。

競馬場に到着すると来賓室に通され、なかなか入る機会のない来賓室での観戦はとても貴重な体験となりました。競馬がしたくてお昼ご飯を立ち食いしたのもとてもいい思い出です。

そして、車中で配られた競馬新聞をじっくり見ていたおかげで最終的に黒字で観戦を終えることができました。また、競馬を通して参加された皆様との交流を深めることができました。

もし、来年も企画がありましたらぜひ参加させていただきます。

今回は企画いただきましてありがとうございました。



(パドックで馬の品定めです。随分スマートです。)

福島競馬観戦ツアーに参加して

中野真希（県立がんセンター）

去る11月7日、北里大学同窓会栃木県支部の福島競馬観戦ツアーに参加してきました。私自身、競馬を見ることはじめてでしたが、行きの道中でJRA競走馬総合研究所の兼丸卓美さんに競馬の賭け方や競馬新聞の見

方等を分かりやすく説明して頂いたので、はじめてでもとても楽しむことが出来ました。

競馬場では実際の競走馬を身近で見れたり、特観席からレースを観戦することもでき、とても良い思い出です。

競馬の結果はビギナーズラックも起こらず残念でしたが、大満足の1日でした。また来年もぜひ参加させて頂き、再チャレンジしたいと思います！！

福島競馬場観戦バスツアー体験記

小松 典史

11月7日土曜日、今回で2回目となる福島競馬場観戦バスツアーに参加して参りました。前回に引き続き入るのは2度目となる来賓席ですが、やっぱり感動です。さすが来賓席ともいべきか、受付も専用ならフロアも専用、券売機もエレベーターも専用、来賓室のテラスからは福島競馬の様子を見られるようになっていくという至れり尽くせりな仕様。何度か、白河で馬券を買った経験がある身からすれば、天と地ほどの差があります。これも偏に兼丸先生のお陰です。ありがとうございます。

競馬の結果の方はといえば、・・・惨敗でした。しかしながら、ギャンブルと言うのは面白い。ただ予想するだけではなく、そこにお金を掛け、一心不乱に当たるように祈る。たとえ100円であっても興奮します。実際に、目の前で競走馬たちが蹄鉄で大地を蹴りあげる音が響いてくるのを目の当たりにすると、その息遣いまでもが聞こえてくる錯覚に陥り馬券を握り締める手にも力が入る。そして、結果を見て一喜一憂する。次の馬券はどうするか、何を選べばいいのか、頭の中でぐるぐると思考を巡らせる。今思い返せば、軽い熱病にでも罹ったかのように、熱中していました。

競馬場での思い出をこうして書き綴っているとまた競馬がやりたいという気持ちがふつふつと湧き上がります。見事に、競馬の虜になってしまったのかもしれません。また、いつれ競馬場へ行こうと思っております。

最後になりますが、福島競馬場へのご手配をして下さった兼丸先生、またツアーを企画された幹事の方々大変お世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

公開講演会「高齢者の健康と漢方薬」を開催しました

岸 善明

北里大学同窓会栃木県支部は平成27年6月20日(土)、栃木県総合文化センターに花輪壽彦先生をお招きし、「高齢者の健康と漢方薬」について御講演を賜りました。

先生には北里大学東洋医学総合研究所所長(漢方鍼灸治療センター長)として日本の東洋医学を牽引される業務多忙の中、栃木にお越し頂きましたことを北里大学同

窓会栃木県支部員一同、心から感謝するところであります。

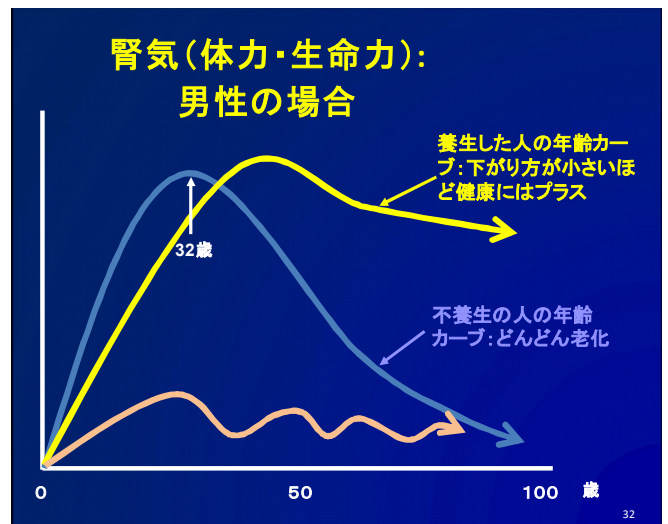
講演は60枚のスライドにより進められた。そのため、ここに全ては紹介出来ませんが、私が理解できました内容を中心に報告します。

漢方医学の特色として

- ①未病制御
- ②急性症状の緩和
- ③ガンの予防・再発予防
- ④抗老化作用

があります。病状にあわせた漢方の処方膨大なものですが、保険診療で148処方が使えます(処方の説明は省略)。高齢者の健康、④の抗老化作用は所謂アンチエイジング作用で血管をしなやかに、認知症の予防等により健康寿命を伸ばす効果となります。

東洋医学に於いて腎は生命力、活力の源です。腎気として生長、発育、生殖にかかわるエネルギーとされ図に示すとおり32歳前後でピークを迎えその後低下し、老化、死へとつながります。この図は黄帝内経(こうてい)による人の体の変化と同様の年齢カーブです。ピークの後の低下するカーブは養生次第で、下がり幅の少ない緩やかなカーブに変えることができます。反対に不養生は老化を加速させます。また黄帝内経には、「女性は7の倍数」「男性は8の倍数」の年齢の時に節目を迎え、体に変化が訪れるという記述があります。このことから女性は7の倍数、男性は8の倍数の年齢が厄年と言われるようになりました。



腎虚に伴う老化のタイプでは物忘れ、精力減退、年より老けた感じがあり、歯がもろい、骨が弱い、動脈硬化関連疾患等の症状が出やすい。これは高血圧、糖尿病など生活習慣病とも関係する。また、脾虚(ひきよ)を伴う老化のタイプがあります。これでは内臓(消化器系や循環器系等)の機能低下によりおこる食欲低下(胃腸の虚弱)、筋肉量の低下(体重減少、自律歩行困難)、虚弱体質(疲れやすい、カゼを引きやすい)等の症状があります。

健康長寿には

- ① バランスの取れた食事 ; 「地産地消」
- ② 規則正しい生活
- ③ 足腰を丈夫に
- ④ 精神的安定 ～くよくよしない～
- ⑤ 社会参加～ボランティア～
- ⑥ 家庭の平穩
- ⑦ 漢方や鍼灸で未病制御

が大切です。その前提のもとで漢方、鍼灸による未病制御効果が大変有効です。

以上で講演の紹介を終わりますが、同窓生各位には北里大学東洋医学総合研究所について若干の情報をお持ち頂けたら幸いと思いホームページ等を参考にしてお持ちしております。

参考：昭和 47 年（1972）6 月、日本医師会（武見会長）と政界・財界からの応援を得て附属病院の並列として、わが国における東洋医学の中心的役割を担うべく設立されました。これにより明治以後、学校医学よりしめ出され個人の努力の下にまろろじて継承されていた東洋医学の組織的研究が可能となりました。現在わが国における東洋医学の中心的役割を担うべく、診療並びに研究（文部科学省科学研究費の拠点リーダー）に取り組んでいる。診療活動として日本の漢方理論に基づく煎じ薬を中心とした診療と、わが国の伝統的手法に則った鍼灸治療を行っています。

大村先生の一番弟子「砂塚敏明教授」

～大村智先生のノーベル医学生理学受賞に寄せて(その2)～

PP14166 磯 恵美子

10月6日は前日に続き、テレビや新聞で「大村智先生のノーベル医学生理学賞を受賞」の話題で持ちきりだった。

とある番組で「大村先生の一番弟子」として砂塚敏明教授がテレビに映った。その途端、大騒ぎしてしまった。

「えーっ、砂塚君！砂塚君じゃん！砂塚君なんだけどお！」連呼。

家族「・・・」（砂塚君て誰？？？状態）

我が家では誰1人、「砂塚君」を知らない・・・ので当然の反応ですが、私はもう興奮してしまって「砂塚君、教授なんだ！すごーい！しかも！一番弟子だって。」

平日で出勤しなきゃいけないのに、テレビにかじりついて「すごーい人になっちゃってるけど、可愛い砂塚君のまんまだ～♪」（教授を、しかも男性を可愛い呼ばわり、申し訳ありません m(_ _)m)。そして家族に「この一番弟子は、私の後輩なんだよね～」と自慢した。

「大村先生の一番弟子だよ！すごーいよね。」

（すでに、そんな後輩を持っている私も（が？）すごーいと当然のように自慢している。）

学生時代、美術部の自称「スケッチハイク要員、コンパ要員」だった私。砂塚君は 1 学年下の美術部後輩で、素直でとても可愛かったのです。

職場に着いてから、砂塚教授に電話をかけた。当然、研究室の学生さん？が「教授は研究室におりますが、取材中で電話に出られません。」

「そうですね。それでは公開されているアドレスにメールさせていただきます。」

ということで、本当にずうずうしくもメールを出した。そして・・・とにかく忙しくて大変だろうにその日のうちにとっても温かい返信があった。

「先輩、お久しぶりです。覚えております。・・・以下省略。」

「大村先生の教え子」であることは私の人生の誇りとなり、さらに大村先生の一番弟子の「砂塚教授は後輩」とダブル誇り（私の人生ってすごーい！自慢）が出来てしまいました。

ぜひ、砂塚教授にお目にかかり、出来れば講演依頼もしたい！（今のうちにサインも欲しい！）と、今後の活躍を楽しみにしているところです。

支部会ニュース原稿大募集

1：楽し、懐かしの学生時代

2：私、こんな事をやっています!!

原稿の送り先

原稿は、印刷したものでも、メールの添付でも構いません。写真を挿入する事も可能です。郵便の場合には投稿原稿と朱書きして下さい。薄謝を進呈します。

329-0434 下野市祇園 2-24-1

滝 龍雄

Tel. & Fax.0285-44-8666

e-mail address : tatabox@kitasato-u.ac.jp

尚、原稿は、到着順に掲載しますのでご了承下さい。

編集後記

パリでテロにより多くの人々が亡くなりました。非常に憎みべき犯行です。でも、その根底には、歴史に翻弄された国々の苦悩もあります。現在はキリスト教徒とイスラム教徒の宗教的対立といった感がありますが、世界三大宗教としての仏教には平和に貢献してほしいものです。

まずは新年会で、平和を祈願しましょう。

滝 龍雄